

学期	月	時数	単元名 教材名	学習目標 学習内容	評価の観点			評価規準 (評価方法)
					知	思	態	
1 学期	4 月	1	朝のリレー	・情景を想像しながら、音読する。	○			・速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫しながら音読している。(音読)
		言葉に出会うために						
		1	野原はうたう	・読み方を工夫し、詩にこめられた思いや情景を捉える。 ・音声の働きや仕組みについて理解を深める。	○			・情景や心情を表す表現に応じて、音読のしかたを工夫している。(音読、ワークシート) ○ ・音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。(観察)
		4	声を届ける 書き留める 言葉を調べる 続けてみよう	・聞き手を意識した音読・発表のしかたを理解する。 ・ノートの書き方、工夫のしかたを理解する。 ・調べ方を工夫し、集めた情報を整理して記録する。 ・印象に残った言葉や気になった言葉を「言葉の手帳」に書き留める。	○		○書	・聞き手を意識して速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫している。(発表) ・ノートの取り方を工夫し、線や矢印で情報を整理している。(ノート) ・目的や意図に応じて、辞書やインターネットを使って調べ、集めた情報を整理して記録している。(ノート) ○ ・進んで日常生活の中から題材を決め、「言葉の手帳」を作ろうとしている。(言葉の手帳)
	5 月	1 学びをひらく						
		4	シンジュン	・場面の展開に着目して、登場人物の関係の変化を捉える。	○		○読	・登場人物の心情や行動を表す言葉に着目して作品を読み進めている。(ノート、テスト) ・場面ごとに会話や描写を整理して、登場人物の心情や関係の変化を捉えている。(ノート、テスト) ○ ・場面の展開について、描写を基に積極的に捉え、学習課題に沿って感想を交流しようとしている。(観察、ワークシート)
		1	【聞く】情報を的確に聞き取る	・情報を的確に聞き取り、メモを取る。		○	話開	・情報を的確に聞き取り、要点を押さえてメモしている。(メモ)
		1	情報整理のレッスン 比較・分類	・集めた情報を目的に合わせて整理する。	○			・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(ノート)
		5	情報を整理して書こう わかりやすく説明する	・情報を整理して、わかりやすく構成する。	○		○書	・集めた情報を、観点に沿って比較したり、共通点を見つけて分類したりしている。(ノート) ・身近な生活の中から目的に合った情報を集めて整理し、わかりやすい文章を書いている。(作文) ○ ・集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明しようとしている。(下書き原稿、振り返りシート)
		1	漢字1 漢字の組み立てと部首 漢字に親しもう1	・漢字の組み立てと部首を理解し、漢字に親しむ。	○			・漢字の組み立てと部首について理解し、漢和辞典を使って調べている。(テスト)
		2 新しい視点で						
		2	ダイコンは大きな根?	・段落の役割に注目して、文章の構成と内容を捉える。		○	読	・「問い」と「答え」から中心的な部分を捉え、筆者の主張を理解している。(ノート、テスト) ○ ・筆者の説明のしかたの工夫について考えたことを進んで伝え合おうとしている。(発言、ワークシート)
		3	ちょっと立ち止まって	・文章の構成に着目して要旨を捉える。	○		○読	・筆者の主張と事例との関係を理解している。(ノート、テスト) ・序論・本論・結論の段落のまとまりに着目し、要旨を捉えている。(ノート、テスト)

6月	1	思考のレッスン1 意見と根拠	・適切な根拠に基づいて意見を述べる。	○		・説得力のある根拠や、意見と根拠の結び付きについて理解している。(ノート)
	4	話の構成を工夫しよう 好きなことをスピーチで紹介する	・話の構成や順序を工夫し、自分の伝えたいことを整理し、聞き手にわかりやすい発表表をする。	○	○ 話聞	・声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながらスピーチをしている。(スピーチ) ・聞き手を想定し、伝えたいことが明確になるように、構成を考え、話す順番を工夫している。(スピーチ原稿) ○ ・話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチしようとしている。(下書き原稿、振り返りシート)
	1	漢字に親しもう2	・新出漢字を確認し、練習問題に取り組む。	○		・文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。(テスト)
	2	文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう	・言葉の単位を理解して、正しく使うことができる。	○		○ ・文法の必要性を知り、言葉の単位とその働きについて理解している。(テスト) ○ ・言葉のきまりについて関心を持ち、積極的に言葉の単位とその働きを理解しようとしている。(観察)
7月	情報社会を生きる					
	3	情報を集めよう 情報を読み取ろう 情報を引用しよう	・目的に合わせて情報を集め、適切に役立てる。		○ 書	・調べたいテーマについて、本やインターネットを活用して情報を集め、整理し、伝えたいことを明らかにして書いている。(ワークシート) ○ ・引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め、それらを使おうとしている。(観察、ワークシート)
	3 言葉に立ち止まる					
	3	詩の世界 [書く]詩を作ろう	・表現の効果に着目して、詩の言葉や情景を読み味わう。	○	○ 読	・詩に描かれている情景を想像し、表現の効果を考えている。(ノート、テスト) ○ ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(詩作品) ○ ・表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって詩を創作しようとしている。(下書き原稿、振り返りシート)
	2	比喩で広がる言葉の世界	・段落の役割をおさえ、比喩の意味や働きを理解する。	○	○ 読	・文中で使われている比喩の文脈上の意味を理解している。(テスト) ○ ・各段落の役割を理解し、要旨を捉えている。(ノート、テスト)
	2	言葉1 指示する語句と接続する語句	・指示する語句や接続する語句の種類や働きを捉える。	○		・指示する語句と接続する語句の役割を理解している。(テスト)
	1	言葉を集めよう もっと「伝わる」表現を目指して	・言葉や表現を工夫して、紹介文を書く。	○		・言葉を集め、似た意味の言葉や修飾する言葉を考え、伝えたいことに合う的確な言葉を探している。(紹介文)
	○読書生活を豊かに					
	2	読書を楽しむ 本の中の中学生 あと少し、もう少し 西の魔女が死んだ ブラインドの向こうに見える光	・登場人物の中学生について考えながら、三編の作品を読み味わう。	○		・読書が、知識や情報を得たり、新しいものの見方や考え方を広げたりすることに役立っていることを理解している。(読書記録) ○ ・進んで読書をし、本の魅力や感想を伝え合おうとしている。(発言、読書記録)
	4 心の動き					
	4	大人になれなかった第たちに……	・登場人物の行動や情景描写などに着目して、心情を捉える。	○	○ 読	・時代背景を考えながら読み、題名や文章に表れている作者の思いを捉えている。(テスト) ○ ・厳しい時代や状況を生きた人物の姿から、進んで自分のものの見方や感じ方を見つめ直そうとしている。(観察、ノート)

8・9月	5	星の花が降るころに	・比喩の表現に着目し、場面の展開に沿って人物の心情の変化を読み取る。	○	○書	・様子や動きを何かにたとえた表現を探し、どのような情景や気持ちをたどっているのか考えている。(ノート、テスト) ・登場人物の気持ちを想像しながら作品の続きを創作している。(創作物語)
	1	聞き上手になろう 質問で話を引き出す	・きき方や質問のしかたを工夫しながら、対話をする。	○	○話聞	・話し手のスピーチに耳を傾け、質問のしかたを工夫しながら対話をしている。(発言、評価シート)
	3	項目を立てて書こう 案内文を書く [推敲]読み手の立場に立つ	・必要な情報を、読み手の立場に立ってわかりやすく伝える文章を書く。	○	○書	・伝えたい事柄・相手に応じて、必要な情報が明確に伝わるように、項目ごとに整理して案内文を書いている。(案内文) ○・粘り強く文章を整え、案内文を推敲しようとしている。(下書き原稿、推敲した原稿)
	2	言葉2 方言と共通語	・地域による言葉の違いを知り、自分たちの言葉について考える。	○	○	・共通語と方言の役割や特徴について理解している。(テスト) ○・今までの学習を生かして、積極的に共通語と方言の役割について理解しようとしている。(発言、ワークシート)
	1	漢字2 漢字の音訓	・漢字の読み方には「音」と「訓」があることを理解する。	○	○	・漢字の音・訓について理解し、熟語を正しく読んだり、同じ熟語の音・訓の読み方を使って短い文を作ったりしている。(テスト)
10月	5 筋道を立てて					
	4	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ	・事実と意見に着目して、論理の展開の効果を考える。	○	○読	・筆者がどのような事実を基にどのような仮説を立てたかについて理解している。(テスト) ・筆者の意見と、それを支える根拠との関係を考えている(ノート、テスト)
	1	思考のレッスン2 原因と結果	・原因と結果の関係に注意して、話の筋道を捉える。	○	○	・原因と結果がどうつながっているか整理し、二つの関係について理解している。(テスト)
	5	根拠を示して説明しよう 資料を引用してレポートを書く	・資料を根拠として引用し、説得力のあるレポートを書く。	○	○書	・情報を整理、自分の考えを裏付ける資料やデータを選び、出典の示し方に気をつけながら引用している(レポート) ○・自分の考えに説得力をもたせるようなレポートの構成を考えている。(ワークシート、レポート) ○・文章の構成や展開を粘り強く考え、学習の見通しをもってレポートを作成しようとしている(下書き原稿、振り返りシート)
	1	漢字に親しもう3	・新出漢字を確認し、練習問題に取り組む。	○	○	・文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。(テスト)
	1	[話し合い]話し合いの展開を捉える	・話題や流れを捉えて話し合う際のポイントを押さえる。	○	○話聞	・話題や展開を捉えながら話し合うために気をつけることを理解し、課題に沿って発言内容を考えている。(発言、メモ)
	4	話題や展開を捉えて話し合おう グループ・ディスカッションをする	・話し合いの話題や方向を的確にとらえて、根拠を明確にして話し合う。	○	○話聞	・自分の考えをまとめる際に、意見に対する根拠を考えている。(ワークシート) ○・話し合いの話題や展開を捉え、互いの発言を結びつけながら考えをまとめている。(発言、ワークシート) ○・積極的に互いの発言を結びつけて考えをまとめ、学習の見通しをもってグループ・ディスカッションをしようとしている。(ワークシート、振り返りシート)
2学期	1	音読を楽しもう 大阿蘇	・情景を想像しながら、言葉の響きに注意して読む。	○	○	・詩の言葉がどのように使われているか考えて、朗読をしている。(朗読)
	6 いにしえの心にふれる					

1 1 月	1	音読を楽しもう いろは歌 古典の世界	・仮名遣いに注意しながら古典を読み、そのリズムを味わう。	○		・仮名遣いに注意しながら、「いろは歌」を音読している。(音読)
	4	蓬萊の玉の枝 ——「竹取物語」から	・古典の文章に読み慣れ、昔の人の思いを想像する。	○		・音読に必要な文語のきまり、古文特有のリズムについて理解し、その世界に親しんでいる。(音読、テスト)
					○ 読	「蓬萊の玉の枝」に登場する人々の思いや行動に着目して読み、古典の世界と現代の人々に共通する部分を考えている。(ノート、テスト)
					○	・進んで古文を音読し、描かれている古典の世界を想像しようとしている。(観察、ノート)
	2	今に生きる言葉 [書く] 故事成語を使って体験文を書こう	・漢文のリズムに親しみ、今に生き続ける昔の人の考えを捉える。	○		・漢文の音読に必要な文語のきまり、漢文特有のリズムや言い回しなどについて理解している。(音読、テスト)
					○ 書	・故事成語と自分の体験を結びつけた文章を書いている。(作文)
	7 価値を見いだす					
	4	「不便」の価値を見つめ直す [書く] 根拠を明確にして、意見をまとめよう	・必要な情報を取り出して要約し、自分の考えをもつ。		○ 読	・目的に沿って必要な情報を結びつけ、要約している。(ノート、テスト)
1 2 月					○	・積極的に必要な情報に着目して要約し、自分の考えを文章にまとめようとしている。(下書き原稿)
	2	助言を自分の文章に生かそう 作品の書評を書く	・書評を書いて交流し、助言し合って考えを深める。		○ 書	・読み手からの助言を踏まえて、自分の書いた書評のよい点や改善点を見つけている。(評価シート)
					○	・読み手からの助言を踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を進んで見だし、学習課題に沿って書評を書き、助言し合おうとしている。(評価シート)
	1	漢字に親しもう 4	・新出漢字を確認し、練習問題に取り組む。	○		・文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。(テスト)
	2	文法への扉 2 言葉の関係を考えよう	・文節の役割を見分け、文節と文節の関係を理解する。	○		・「文節どうしの関係」「連文節」「文の組み立て」について理解を深めている。(テスト)
	読書に親しむ					
	1	考える人になろう 君たちはどう生きるか たのしい制約	・筆者のものの見方や考え方に触れ、自分の考えを広げる。		○ 読	・筆者のものの見方や考え方が表れている部分に線を引き、考えたことをグループで発表し合う活動を通して、自分の理解を確かなものになっている。(ワークシート)
	8 自分を見つめる					
1 月	6	少年の日の思い出	・場面の展開や語り手、表現のしかたに着目して、心情を捉える。	○		・場面描写の言葉や登場人物の心情を表す言葉に着目している。(教科書への線引き、テスト)
					○ 読	・登場人物の考え方や感じ方について、自分の考えをもっている。(ノート、テスト)
					○ 書	・別の人物を選び、その人物の心情や行動が明確になるように構成や展開を工夫して書いている。(創作文)
					○	・文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。(下書き原稿、振り返りシート)
	1	漢字に親しもう 5	・新出漢字を確認し、練習問題に取り組む。	○		・文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。(テスト)
	2	文法への扉 3 単語の性質を見つけよう	・単語の働きや性質を理解し、正しく単語を分類できるようになる。	○		・「単語の分類」「品詞」「体言と用言」について理解を深めている。(テスト)

2月	2	随筆二編	・表現の工夫に着目して、場面の展開を基に筆者の思いを捉える。	○		○ 読	・「空の描写」や「父親とのやりとり」がどのように表現されているかを理解している。（ノート、テスト） ・場面の展開や描写に着目しながら、筆者の「空」についての思いや「父親」への思いを捉えている。（テスト）
	4	構成や描写を工夫して書く 体験を基に随筆を書く	・体験を基に、中心がはっきりするように描写を工夫して書く。	○		○ 書	・書き出しや結び、出来事を、言葉を吟味し、描写を工夫して書いている。（随筆） ○ ・粘り強く文章の構成や展開を考え、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。（下書き原稿、振り返りシート）
	2	言葉3 さまざまな表現技法	・表現技法の特徴を理解する。	○			・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解している。（テスト）
	1	漢字3 漢字の成り立ち 漢字に親しもう6	・漢字の成り立ちを知り、漢字の正しい理解に役立てる。	○			・漢字の成り立ちについて理解し、漢和辞典を使って調べている。（ノート、テスト）
3月	5	一年間の学びを振り返ろう 要点をフリップにまとめ、発表する	・観点を決めてフリップにまとめ、わかりやすく工夫して発表する。	○		○ 話 聞	・情報の整理のしかたを理解し、要点をわかりやすくフリップにまとめている。（フリップ） ・聞き手や場に応じて、発表の言葉や表現を変えるなどの工夫をしている。（発表） ○ ・集めた材料を積極的に整理し、今までの学習を生かして要点をフリップにまとめ、発表しようとしている。（ワークシート）
	2	さくらの はなびら	・表現技法に着目して、詩の言葉を読み味わう。	○		○ 読	・詩の解釈を通して理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。（発言、ノート）
	3	学習を振り返ろう	・P260の説明文を読み、学習課題に取り組む。			○	・今までの学習を生かして、それぞれの学習課題に粘り強く取り組もうとしている。（観察、振り返りシート）